

エムポックス緊急事態宣言 -WHO-

資料3

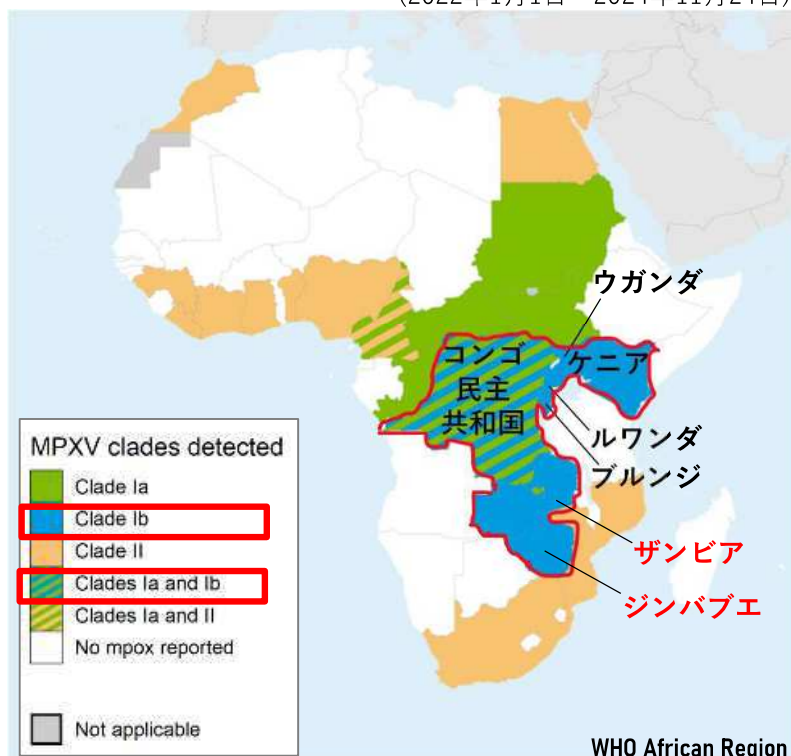
4類感染症

※「サル痘」から名称変更
(感染症法施行令: 令和5年5月26日)

- ・ 2022年5月～秋にかけて、クレード IIbによる国際的な流行が発生し、WHOが「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHEIC)」を宣言 (2022.7-2023.5)。
- ・ **2024年8月14日**、コンゴ民主共和国 (DRC)における クレード Iによる大規模な流行と同国周辺国での流行拡大を受けて、WHOが**2度目**の「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言。
- ・ **2024年11月6日**、WHO、アフリカCDCほかは、**アフリカ9カ国**に対して、**最初の約90万回分のワクチン**を割り当て。**2024年末までに**、これを含む**585万回分以上のワクチン**が利用可能に。
- ・ **2024年11月22日**、WHOはエムポックスの感染拡大が**引き続き公衆衛生上の緊急事態**であると発表

エムポックス発生状況 (アフリカ)

(2022年1月1日～2024年11月24日)



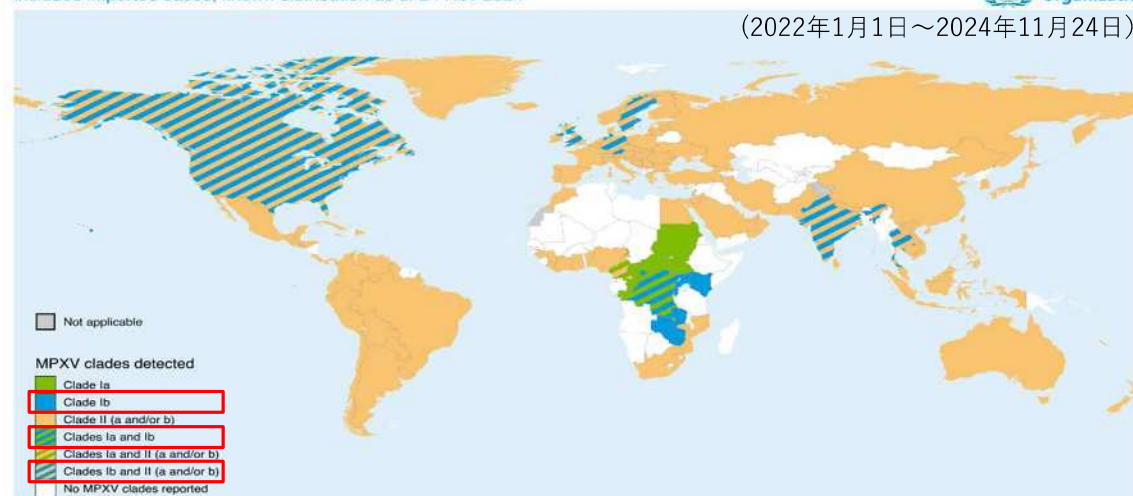
エムポックス発生状況 (世界)

MPXV clades detected globally

includes imported cases; known distribution as of 24 Nov 2024



(2022年1月1日～2024年11月24日)



- ✓ 2022年1月1日以降、全世界で**11万人以上**の感染例が報告されている。
 - ✓ 2024年10月 アフリカでは新たに**ザンビア**、**ジンバブエ**でクレード Ibの感染者が発生
 - ✓ 2024年11月時点で、アフリカ以外では**スウェーデン**、**タイ**、**インド**、**ドイツ**、**英国**、**米国**、**カナダ**で クレード Ibの感染者が発生している。
- ※ **日本では クレード Iは確認されていない。**

